



あたごふれあい人権文化センターだより

2025 年6月 1 日発行

発行 : あたごふれあい人権文化センター
住所 : 〒682-0846
鳥取県倉吉市鴨河内 1818-2
電話 : 0858-28-5440 (FAX 兼)
E-Mail : atago@ncn-k.net

あたごふれあい人権文化センターだより「心ゆたかに」
に関するご意見・ご要望をお寄せください。

男女共同参画フォーラム in くらよし 2025
令和7年度第1回倉吉市人権のために学ぶ同和教育講座(男女の人権)

女性自治による視点 ~大山自治会長として取り組んできたこと~

あなたのまちには、**女性の役員(※公民館長や部長)**がいますか？

倉吉市では、まち(自治公民館)の運営の中心になる公民館役員のうち、女性の割合はわずか14%です。男性中心で運営されるまちは、全ての人にとって暮らしやすい・住みよいまちになっているのでしょうか？女性と男性が協働し、互いの強みを活かしてまちをつくっていくために私たちはどうすればよいか、一緒に考えてみませんか？

日時 : 6月22日(日) 13時30分~15時30分(開場13時)

会場 : 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

倉吉市男女共同参画推進まちづくり表彰 表彰式

13時30分~14時

男女共同参画啓発講演会

14時~15時30分

[詳細ページ]

講師 : 佐藤 良子さん(東京都立川市大山自治会 相談役) オンライン講演

入場無料、要申込、託児あり(事前申込制 詳細は右のQRコードをご確認ください)

【お問い合わせ先】人権政策課 TEL 0858-22-8130 / E-mail : danjo@city.kurayoshi.lg.jp



戸籍・住民票の交付に係る本人通知制度のインターネット手続きについて

本人通知制度は、倉吉市に住民登録や本籍がある方が事前に登録しておけば、その方の住民票の写しなどを代理人又は第三者に交付したときに、その事実を登録者本人にお知らせし、不正請求の抑止や不正取得による個人の権利の侵害防止の効果が期待できます。

このたび、窓口に加えインターネットでの手続きが可能となりました。

詳しくは、倉吉市公式ホームページ(下記URLまたは右のQRコード)でご確認ください。
(<https://www.city.kurayoshi.lg.jp/2507.htm>)



6月のあたごふれあいサロン

日時 : 6月20日(金) 13:30~

場所 : あたごふれあい人権文化センター

内容 : ものづくり教室

天然木のさくらあーと 「浪漫小箱」づくり

材料代 : 1,200円程度

(巾7.4×奥行10.4×高さ3.4cm)

※参加申し込みされる方は、6月9日(月)までに希望の番号と合わせてお電話ください。

①椿



②バラ



差別落書きは重大な人権侵害です！

※差別発言に遭遇した場合や差別落書きを発見した場合、また悩みごと、生活に困っていることなど、人権政策課または最寄りの人権文化センターへご相談ください。

人権政策課

TEL 0858-22-8130

あたごふれあい人権文化センター

TEL 0858-28-5440



“思い込み”を捨て、誰もが輝く社会へ！

6月は男女共同参画推進月間

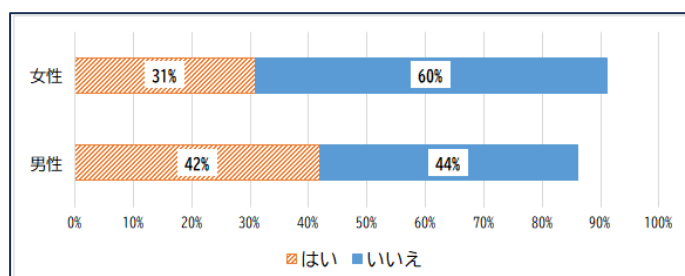
倉吉市では、「男女共同参画のまちくらよし」を目指して、行政、市民、事業者の皆様と共に男女共同参画の取組を進めており、毎年6月を「男女共同参画推進月間」としています。

月間中のアンケート結果から

令和6年度の月間中に実施した男女共同参画についての考えをシールを貼って回答する参加型アンケートの結果から見てきたことを前回調査（令和5年実施）と比較しながら紹介します。

性別と固定観念

問1 育児や介護は女性の方が向いていると思いますか？



「育児や介護は女性の方が向いている」と思う男性は42%（前回53%）、そう思わない女性は60%と前回75%から15ポイント減少しました。男性が育児・介護に関して女性に抱いている印象と、女性が育児・介護に関して感じている印象には明らかなズレがあるようです。

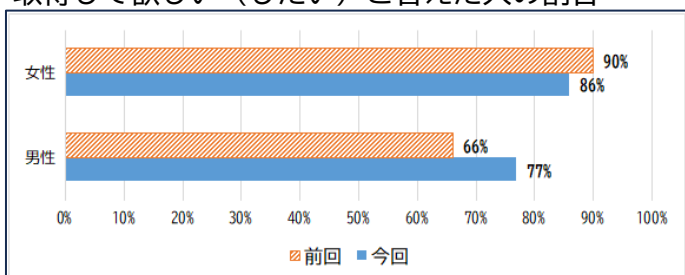


無意識のうちに「〇〇は女性（男性）の役割だ」と決めつけていませんか？育児・介護など家庭での役割について思っていることを家族で話し合うと、思わぬ発見があるかもしれません。

男性の意識や行動に変化

問2 男性の「育児休業」取得をどう思いますか？

取得して欲しい（したい）と答えた人の割合



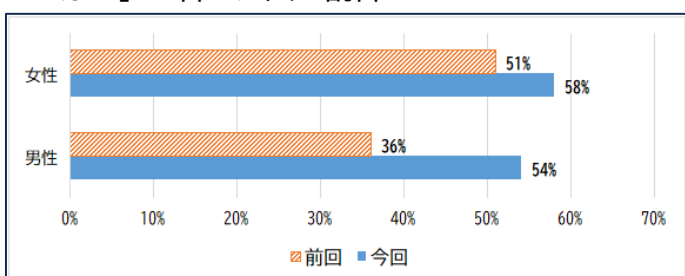
男性の育児休業について「取得したい」と考える人は、男女とも増加しています。特に男性においては、前回調査では66%、今回は77%と11ポイント上昇しています。2023年の国調査では、男性の取得率は初めて3割台（30.1%）となりましたが、女性の取得率の84%とは



大きな開きがあります。

問3 男女共同参画について、家庭・職場・地域等で話題にしたり、考えたことがありますか？

「はい」と答えた人の割合



男女共同参画について話題にしたり、考えたことのある人は、男女ともに増加しています。特に男性においては、前回調査では36%、今回は54%と18ポイント上昇しました。「男性の育児休業取得」が推進されていることもあり、家庭や職場で男女共同参画について考える機会は今後も増えていくのではないのでしょうか。

男女共同参画についての正しい認識と必要性を広めるためには、性別や年代を問わず多くの人がさまざまな機会を通じて考え、学ぶことが大切です。

私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみましょう！